

猫の命と地域の環境を守る猫の保護・TNR活動

一般社団法人 丹波篠山いぬねこ友の会

行き場を失った猫と新しい家族(里親)とをつなぐ保護猫譲渡会を、月1回、篠山技能高等学院(宮田)で開催しています。また、今田町本荘で譲渡型保護犬猫カフェ「LA-HOJU」の運営を行いながら、現在30匹の猫と共に暮らしています。

子どもの頃から、犬や猫の命を守る活動をするのが夢だった、いぬねこ友の会代表の酒井由美子さん。大切にしているのは「命を救うこと」だけではありません。「人も動物も、一つ一つの命が大切にされ、誰もが思いやりを持って暮らせる地域にしたい。そのためには、命について学び、考える機会をつくるのが大切」と話します。保護活動が必要なくなる未来をめざし、子どもから大人までが命の大切さや責任、やさしさを学ぶ「いのちの共育」に取り組んでいます。

11月22日(日)に、丹波並木道中央公園で「猫と学ばやさしさといのちの体験ひろば」を開催します。子ども向けに、楽しく学んでもらうための絵本の読み聞かせやワークショップ、大人向けの「いのちの授業」などを予定しています。



(一社)丹波篠山いぬねこ友の会
代表理事 酒井由美子さん

譲渡会の予定
など詳しくは
こちらから



譲渡型保護犬猫カフェ「LA-HOJU」は里親希望の方だけでなく、猫と触れ合うだけでも大歓迎！

10月の保護猫譲渡会は、
とき 10月18日(日)
13:00~16:00
場所 篠山技能高等学院
問い合わせ (一社)丹波篠山いぬねこ友の会
☎080-5342-8953(酒井)



いぬねこ友の会では、猫フード、猫用品、シートが不足しています。ぜひご支援をお願いします。
※譲渡会へ届ける、または酒井さんにご連絡ください。

ガバメントクラウドファンディング

丹波篠山TNR推進プロジェクト ～人と猫が調和し、共生するやさしいまちづくり～

既存の地域猫活動推進事業の助成額では、不妊・去勢手術費用全額を賄えず、自己負担が発生することから、地域住民や自治会がTNRの取り組みに踏み切れない現状があります。そこで市は、不妊・去勢手術に対する助成を拡充し「住民や自治会の自己負担をゼロにする」ことを目標に、ガバメントクラウドファンディングを実施しています。金銭的な負担を取り除くことで、これまで一步を踏み出せずにいた地域や団体が、安心してTNR活動に取り組める環境をつくります。皆さんの温かいご支援を、心からお待ちしています。

●目標金額 300万円 ●募集期限 10月31日

※市に住民登録がある場合、寄付を行っても返礼品は受け取れません。ふるさと納税制度による住民税からの控除額には上限があります。



TNRサポートささやま

TNRとは、飼い主のいない猫をこれ以上増やさないための取り組みです。



飼い主のいない猫を捕獲器を使って捕まえる
不妊・去勢手術を行う(耳をV字にカット)
元の場所に戻し、餌やりなどのお世話をします

TNRは「捕獲して終わり」ではなく、元の場所に戻した後の見守りや適切な餌やりなど、継続的なお世話が必要です。

TNRサポートささやまは、ボランティアで飼い主のいない猫のTNRのお手伝いをされています。代表の満丸美香さんは「TNR活動は、地域に住む飼い主のいない猫に餌を与える“餌やりさん”の協力が欠かせません。猫の餌やりをしているけれど増えてしまい困っている方は、まず相談してください。一緒に解決していきましょう」と話されました。



TNRサポートささやま
満丸美香さん

問い合わせ
090-3031-6345



人と猫が心地よく暮らすためには、TNR活動の輪が広がっていくことが大切です。地域の問題を自分事として捉え、みんなで解決しませんか？



居場所があるって
幸せだにゃ～

人が好き まちが好き
街かど
Report

「かわいい」から始まる 人と猫がともに心地よく暮らせるまちづくり

皆さん、猫は好きですか？好きな人も嫌いな人も、どちらでもない人も、私たちは猫と共存する社会に暮らしています。ですが、共存関係にある猫に対して人間の身勝手な行動があると、人にとっても猫にとっても好ましくない環境になりかねない事態を招きます。今回は飼い主のいない猫の問題や保護猫活動、そしてTNR活動についてお伝えします。

問い合わせ 農村環境課 ☎552-6253

猫って…

猫は非常に繁殖力が高く、1組の親猫から、1年間で約65匹に増えるとも言われています(親猫が生んだ子猫がさらに子猫を生む数を含む)。

国は「動物愛護管理法」を定め、動物の命を尊重するとともに、人と動物が共生する社会の実現をめざしています。こうした考えのもと、行政機関に持ち込まれる猫の数は大きく減少しましたが、飼い主のいない猫が居なくなつたわけではありません。

市内でも、飼い猫の無責任な遺棄や不妊・去勢手術が適切に行われていない飼い主のいない猫への無責任な餌やりなどが過剰な繁殖につながり、糞尿による悪臭や鳴き声、畑の掘り返しなど、人の生活環境への影響が生じ、問題となっています。

こうした問題を放置することは、地域で暮らす人にとっても、そこで生きている猫にとっても望ましいことではありません。

とではありません。人の生活環境と猫の命、その両方を守るために、地域全体で向き合っていくことが求められます。

猫と地域の環境を守る 市の取り組み

市では、令和3年度から、飼い主のいない猫の繁殖を抑え、良好な生活環境を守ることを目的として「地域猫活動推進事業」に取り組んでいます。市が主催する講習会を受講した方を対象に、捕獲器の貸し出しや、捕獲した飼い主がいない猫の不妊・去勢手術に対する助成を行っています。また、猫の保護活動に取り組む団体などと協働し、保護猫譲渡会の共催などを行っています。

地域猫活動推進事業を担当している農村環境課の森田憲二係長は「人と猫、双方が住みやすいまちをつくるためには、一人一人の正しい知識と責任感、また、地域全体の理解と協力が重要です。」

地域猫活動推進事業講習会

市では、野良猫などの不妊・去勢手術費用の一部を助成しています。助成金の交付を受けるには、本講習会を受講する必要があります。

とき 11月5日(木)14:00~
場所 丹波篠山市民センター
内容 野良猫の環境問題、市助成金の制度、猫の飼い方
期 10月28日(水)
申し込み方法 農村環境課へ申込書を提出または電話



無責任な餌やりや飼い猫の遺棄は、絶対にやめてください。また、猫に関して気になる事があれば、早めにご相談ください」と話されました。



農村環境課
森田憲二さん



リポーター
はたひろえ
畑弘恵さん